

小規模企業景気動向調査

[平成29年11月期調査]

～人手不足や原材料高騰が重しとなり、わずかな改善に留まった小規模企業景況～

2017年12月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2017年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…人手不足や原材料高騰が重しとなり、わずかな改善に留まった小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、資金繰りDIは先月と比べ若干改善し、売上額DIは小幅に改善する一方で、採算DIはわずかに悪化した。売上DIは、建設業を除き改善がみられるが、慢性的な人手不足に加え、野菜や原油などの高騰が採算確保の重しとなっており、本格的な業況改善には至っていない。

<製造業> ◇…年末年始の需要で売上が伸びる一方で、経費上昇のため収益確保に苦慮する製造業…◇

製造業の業況DIは小幅に改善、先月と比べ売上額DI、採算DI、資金繰りDIは若干ではあるが改善が見られた。経営指導員からは、食品製造業を中心にお歳暮やクリスマスイベント、正月等の年末年始の需要が増えたため、売上が伸びてきているとの報告があった。一方で、人件費や原材料費、運賃等の経費の上昇のため、売上が収益に反映されていないとの報告があった。

<建設業> ◇…仕事量はあるものの、人手不足等により受注の取りこぼしが目立つ建設業…◇

建設業の業況DIは小幅に改善したものの、売上額DIは不変、資金繰りDIはわずかに改善、採算DIに至っては小幅に悪化となった。民需・公需を問わず、仕事量はあるものの、人手不足感が根強く、工期が間に合わず応札できない事業者もあるとの報告や、新規雇い入れが困難なため、一時的な仕事量の増加を歓迎しつつも、下請業者の確保も難しいことから、売上の取りこぼしが起きているとの報告があった。

<小売業> ◇…売上減少が下げ止まるも、ネット通販に消費者が流れ厳しい状況が続く小売業…◇

小売業は全項目で改善が見られたが、2ヶ月ぶりに改善した業況DIの改善幅はわずかであった。売上額DIは大幅改善、採算DIはわずか、資金繰りDIは小幅に改善した。売上額DIをみると、前年度に比べ、売上減少が少なくなっている。経営指導員からは、景況感の改善がみられるとのコメントがある一方で、ネット通販の普及により店頭での売上が伸びないことや野菜価格の高騰により、粗利益率が低下しているとの報告があった。

<サービス業> ◇…一部の観光関連では売上増がみられるも、原材料等の値上がり等により利益確保が難しいサービス業…◇

サービス業の業況DIは、不変であった。売上額DIは、先月から一転しわずかに改善したが、採算DIは小幅に悪化、資金繰りDIはわずかに悪化した。経営指導員からは、秋の行楽シーズンを迎え、観光関連業種では、観光需要を取り込み売上確保をしているところがある一方で、天候不順により売上・利益とも減少したとの報告があった。また、飲食店や旅館業では、原材料や燃料価格が値上がりし採算が悪化している、理美容業では客数減少に伴う売上減少が続いているとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 11.1	▲ 8.6	2.5	▲ 4.9	▲ 3.0	1.9	2.4	2.4	0.0
採算	▲ 13.0	▲ 14.4	▲ 1.4	▲ 12.3	▲ 11.7	0.6	▲ 5.2	▲ 8.9	▲ 3.7
資金繰り	▲ 9.9	▲ 8.9	1.0	▲ 8.9	▲ 7.1	1.8	▲ 6.8	▲ 6.0	0.8
業況	▲ 15.1	▲ 13.2	1.9	▲ 10.9	▲ 7.9	3.0	▲ 5.8	▲ 2.9	2.9

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 25.0	▲ 18.4	6.6	▲ 16.8	▲ 15.6	1.2
採算	▲ 22.0	▲ 21.0	1.0	▲ 12.7	▲ 16.1	▲ 3.4
資金繰り	▲ 15.2	▲ 12.6	2.6	▲ 8.7	▲ 10.0	▲ 1.3
業況	▲ 25.8	▲ 24.0	1.8	▲ 17.6	▲ 17.9	▲ 0.3

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

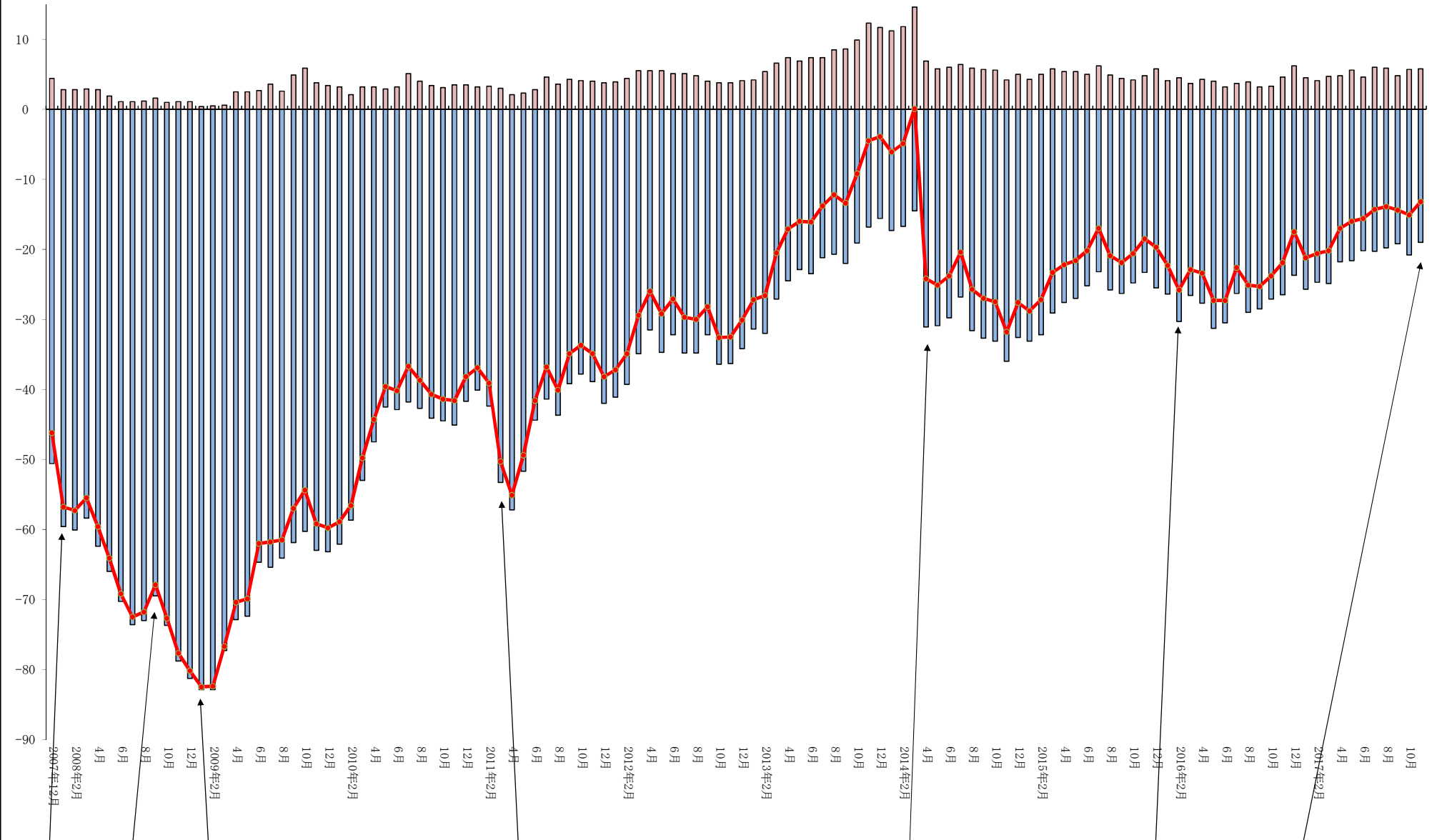
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

17年/11月
-13.2

小規模企業景気動向調査(11月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・観光客入込数は前年より増加傾向が続いている。外国人観光客も多い。観光関連産業も堅調だが、全体としては前年並み。

(鹿児島県屋久島町商工会)

・町内でプレミアム付商品券事業を実施した結果、小売・サービス業の売上が増加した。特に商品券を活用して耐久消費財の購入をした消費者が多かった。

(福島県檜葉町商工会)

・金融機関は引き続き融資に積極的。各業種とも人手不足はますます顕在化しつつある。高萩市がTVで紹介されたため、観光客増加。登場したお店が賑わった。

(茨城県高萩市商工会)

・建設業においては災害復興関連で景況は好転している。1月から入札が始まる京都府の災害関連工事に期待。全体的に人手不足であり、従業員がいても若者との価値観の違いなどが雇用について意見があった。

(京都府京丹後市商工会)

・例年と比べ早めの降雪、積雪により需要が増加した業種もあったが、一方では集客減となった業種もあり、気候の変化による影響が少なからずとも売上に立た月となった。業種によって差はあるものの、景気低迷感の底打ち、回復兆候が見えてきており、新たな設備投資や新規事業に取り組む事業所も増加傾向にある。

(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・当地域の経済状況は、全般的に前年比横ばいかやや低迷の傾向。資金需要については金融機関も情報収集に動いているが、業況が厳しい事業先ほど借入依存度が高く、リスク管理上慎重な対応になりざらう得ない案件のほうが多いように見受けられる。

(山形県もがみ北部商工会)

・地域全般では、融資件数も昨年と比べて緩やかになっており、資金需要の減少が見られる。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・地域の経済状況は、全般的に活気のない状態が続いている。食料品小売業者の中には、借入過多に陥っている企業が出てきている。

(鹿児島県日置市商工会)

・経済状況的には、横這いだが、従業員問題である労務関連の相談が3件あり、人手不足及び深刻化している。金融機関はカードローンの販売が顧客の自己破産の温床となる傾向があり、問題視されている。一方、県を跨いだ合併等の流れも加速化して行きそうな状況を感じている。

(山形県上市市商工会)

・週末天候に恵まれず、町全体としては人の流入が減少しサービス業、食品製造・小売り関係全体に影を落とした。また、慢性的な人手不足の中で、生産人口の減少をIoTなどでカバーしようとする動きとそのまま手をこまねいている事業所の差が少しずつ出てくるのではと感じている。

(長野県信濃町商工会)

・大きな変動は見られなかったが、原油の高騰によるガソリン価格の上昇が続き経費が増加し採算面に影響が出ている。

(福島県矢吹町商工会)

・有効求人倍率は良好な状況と報じられているものの、高齢化により現場においては、実際は人手的にはかなり不足している状況にあり、生産が追いついていないところを外注に出している状況にある。

(愛媛県長浜町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・取引先は変わらないが従来よりも受注が微増している。これにより資金繰りも改善傾向にある。

(福岡県筑前町商工会)

・金属加工関連の製造業は、取引先も増えており、売上は順調に伸びている。

(神奈川県伊勢原市商工会)

・食品製造業は、原材料がやや上昇している傾向があるが、仕事は安定している。

(茨城県大洗町商工会)

・自動車関連の製造業は、国外販売の為、受注が安定している状況。

(山形県上市市商工会)

・金型製造業は製品・部品加工など受注が安定しており好調である。

食品(豚肉)製造業は年末のお歳暮や正月料理用の出荷に向けて多忙時期に入り好転が期待できる。

(沖縄県与那原町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・自動車関連製造業者は、極端である。小規模事業者でも24時間フル稼働している所もあれば、受注がなく廃業するところもある。

(静岡県函南町商工会)

・食品関連の製造業は人件費の高騰により厳しい状況が続いている。現状の人出不足も解消できていない中でコスト増により生産性の悪化が懸念されている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・織物事業者の廃業により、生地が不足してきている。

(栃木県佐野市あそ商工会)

・製造業全般は前期と変わらない状況であるが、金属部品加工業は発注数及び単価の減少により厳しい経営環境を強いられている。

(岩手県矢巾町商工会)

・プラスチック加工関連の製造業は、材料費、人件費上昇のため、採算面が改善されない。

(東京都福生市商工会)

・建設関連の製造業は、順調に受注を伸ばしている。一方で原材料費や運賃などの経費の上昇と人手不足などで、あまり収益には反映されていない。

(香川県さぬき市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・建設業は昨年と比べ好調である。

仕事場所を選ばなければ仕事があり、受注についても増えている。

(山口県下関市商工会)

・福岡都市圏での仕事を受けている業者は仕事量、単価とも増加傾向にある。

(福岡県筑前町商工会)

・土木関係の建設業は、公共工事の増加のため、受注が増えている。

(神奈川県伊勢原市商工会)

・建設業界：新築は少ないもののリフォームは好調。公共事業は年度末に受注は伸びる予想。

(栃木県那須町商工会)

・ゼネコンや公共工事は横ばいだが、GPS付きのブルドーザーや測量機の新型の機械設備への導入企業が増えつつあり、投資意欲が活発である。

(広島県呉広域商工会)

・10月下旬の台風による被害の修復業務が特需的に発生しており、建築板金、外壁工事等の業種を中心に忙し

(福井県坂井市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・公共・民間ともに増加傾向にある。但し、慢性的な人手不足に加え、人件費の高騰、社会保険の加入徹底等により採算性の改善にまでは至っていない。

(沖縄県南城市商工会)

・住宅建設関連は復興による工事需要と反比例して着工件数等が低い状況が続いている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・塗装関連の建設業は、受注は一部断らないといけなく入っているが、人材確保難(若年層の未定着)・下請業者の確保難により、売上の取りこぼしがある。

(兵庫県太子町商工会)

・畳関連の建設業は、大口顧客である旅館関係の業績が振るわず、畳の入れ替え等の受注が少ない状況で業績を落としている。

(群馬県中之条町商工会)

・積雪等により建築工事が出来ない状況になってきているが、除雪作業は頻繁に行っていない為、建設業の売上等が減少している。

(福島県北塩原村商工会)

・仕事はあるものの、人員が確保できず受注できないなど人員不足が顕著になっている。

(千葉県印西市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・食料品関連の小売業においては、景況感の改善に伴い、売上・利益ともに拡大傾向にある。

(沖縄県南城市商工会)

・衣料品や食品関係は大型店舗の影響もある中で、ベーカリーはクリスマス商戦に向けて景況感が良い。

(広島県呉広域商工会)

・自動車関連の小売業は販売よりもメンテナンスの集客が増えている。

(長野県南箕輪村商工会)

・「衣料品」…まだ比較的暖かい日が多く、コート類等冬物はあまり売れていない。まだ秋物が売れ筋商品である。「食料品」…仕入は台風の影響が徐々にだし葉物野菜が高騰している。ただし、価格転嫁はできている。その他の項目に大きな変化はない

「耐久消費財」…11月については創業祭も行った事により昨年と同じくらいの来店数であった。次の売上へつなぐことができたが、イベントを行うとやはり案内等に時間と手間が取られコストもかかるが、何もしないと来店数に反映しな

(京都府京丹后市商工会)

・衣料品…冬物衣料が好調。今後、寒気の具合で売り上げも伸びるかもしれない。

食料品…年末に向け多くの仕入れを行う時期であることから、資金繰りは厳しいものがある。借入相談も多いことから、その動きは例年よりも多いと推察される。

耐久消費財…中長期的に緩やかな需要の減少ではあるが、降雪・積雪シーズンの早まりによる暖房機器や除雪機の短期的な需要増加で何とか事業規模を維持している。

(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・食料品小売業ではここ数年、この時期の野菜の高騰が続いており、内容量を少なくして袋価格を維持している。

(岡山県吉備中央町商工会)

・野菜関連の小売業は、野菜の高騰のため、粗利益率が低下し、資金繰りが厳しくなっている。

(鹿児島県日置市商工会)

・衣料品関係の小売業は、ネット商品の増加により、実店舗での売上は下がっている。

(神奈川県伊勢原市商工会)

・ガソリン関連の小売業は、ガソリンの価格が上昇し続けており厳しい状況。低燃費の車が増えており、EV車の開発が加速することも予測され、先行きは厳しい状況。管内では、今年度すでに1社がガソリンスタンドを閉鎖している。

(静岡県新居町商工会)

・衣料品関連の小売業は、高価でもいいものを、と考える購買層は来店してくれるが、それ以外の層は大手ファストファッションに流れる。新たな販路開拓を模索中。

ギフト品関連の小売業は、ギフト品が低調なため需要停滞が続いている。新しい需要の掘り起しが必要。

(兵庫県太子町商工会)

・町外へ買い物に出してしまう住民の流出を止めようと地元商店会が元気な地区は検討しているが、全体的に小売業は厳しい。ネット通販等に対抗することが価格も品ぞろえも勝ち目が無い。

(長野県信濃町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・自動車整備関係のサービス業は、安定して受注が入っている。

(群馬県群馬伊勢崎商工会)

・理美容関連は固定客が売上の安定化を支えており、産廃関連も引き続き需要があり、売上は安定している。

(山形県上山市商工会)

・旅館関連のサービス業については観光需要の高まりを受け好調。商工会窓口においても民泊の創業相談が増えている。

(沖縄県南城市商工会)

・宿泊・レンタカー関連のサービス業は、観光客が例年になく多い。そのため、特に奄美大島中心部はキャンセル待ちも多い。その他の地区も宿泊者が多い。南部の瀬戸内町では、陸上自衛隊基地建設が始まることにより、ビジネスホテルや民宿も仮抑えられており、一般の観光客が宿泊できなくなる可能性がある。

(鹿児島県あまみ商工会)

・旅館関連のサービス業は、前年の11月は、鳥取県中部地震直後の宿泊予約キャンセルがあり、全体的に売上高増加。11月・12月は、宿泊客数が例年よりも増加傾向。

洗濯関連のサービス業は、宿泊施設の客入りと比例し、シーツなどのクリーニング需要が増加。

理美容関連のサービス業は、売上高は大きな変動はないが、仕入単価が上昇傾向である。

固定客の確保と客単価アップに繋がるサービスを始める事業所が増えている。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

・飲食業は仕入コストと電気、水道等の公共料金も値上げがあり採算が悪い状況で、売上に転嫁できない状況である。

(富山県富山市北商工会)

・広告の印刷発行業種は、PCやプリンタの性能向上により自社発行するところやネットプリントの格安印刷会社に押されて、受注が大幅に減っている。

(埼玉県宮代町商工会)

・飲食関連のサービス業の殆どの事業所において、来店者・客単価の減少により、売上が伸び悩んでおり、経営は厳しい状況である。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

・雨天続きや早い降雪などの影響で、宿泊業や観光関連業種は売上・利益ともに減少。理美容業は、人口減少や高齢化に比例してゆるやかな減少傾向は続いている。

(新潟県妙高高原商工会)

・副業ビジネスでコインランドリーを始める事業所が出てきており、クリーニング業は、今後売上の減少が心配される。

(宮崎県えびの市商工会)

・宿泊関連のサービス業は、燃料価格の上昇と仕入価格上昇により採算性が低下している。

(青森県平川市商工会)